

BF ニュース 2024年9月

◆帳票マーケット情報研究会の開催予定

コロナの影響も落ち着いてきたこともあり、そろそろ対面セミナーの開催も検討する機運となりました。決定次第、周知させていただきます。

◆王子HD、チューエツをタイヘイに 売却 (9/1)

王子HDはその子会社のチューエツ（本社富山市）の全株式を9月1日付でタイヘイ（本社千葉県匝瑳市）に売却することになった。

チューエツ＝本社 富山市、印刷・加工品・包装・不動産、売上73億3千万円(24.3)

タイヘイ＝本社 千葉県匝瑳市、給食宅配・食品・食材・フレッシュデリカ・印刷・信販、売上1260億円（HPによる）印刷業については東洋紙業を傘下に持つ。

◆BF業界関連会社、ツバメ封筒 (愛媛県四国中央市) 傘下に

エム・エフ・テック（元新潟高速紙工業）、は、創業の株主の梅田邦代氏の死後、梅田家が相続していたが、梅田家がツバメ封筒グループ（香川県観音寺市）を持つ石川喜平氏に譲渡した模様で、エム・エフ・テックの代表者が梅田氏から石川順平氏に変更された。石川順平氏は、アコーダビジネスフォーム、杉本紙器（横浜）、以上3社の代表者にもなっている。

ツバメ封筒グループは資本金3千万円、明治41年創立、従業員数90名、年商17億円、石川喜平氏が代表で、石川順平氏は執行役員となっている。（東京商工リサーチ）

◆65歳以上最多3625万人 (9/26)

9月16日の敬老の日にちなみ総務省が発表した人口推計によると、65歳以上の高

齢者は前年比2万人増の3625万人となり、過去最多を更新した。総人口に占める割合も過去最高の29.3%、働く高齢者数も増えており、4人に1人が就業している。80歳以上は1290万人で総人口の10.4%。

◆スパリゾートハワイアンズ、 米国ファンドフォートレスがTOBで 傘下に。(9/10)

米投資ファンドのフォートレスインベストメントグループが「スパリゾートハワイアンズ」（福島県いわき市）を運営する常磐興産を買収することになった。スパハワイアンズは1966年開業で施設の老朽化が進む。近年は客足が落ち込んでおり、4期連続で最終赤字となっている。

フォートレスインベストメントは投資ファンドで、海外ホテル・レジャー施設の運営に強く、日本への進出ではレジャー関連ではトップで、宮崎県のシーガイアリゾートなどを持つ。ホテル部門のマイステイズ・ホテルは8月時点で国内155施設の亀の井ホテルグループなどホテルや旅館を管理運営する。傘下のゴルフ場国内最大手のアコーディアゴルフとも連携する予定。

フォートレスは常磐興産株式を2回に分けてTOB（株式買付）を実施し約140億円をかけて6日の株価に33%のプレミアムを付けた。

◆リコー、国内外2000人削減 (9/13)

リコーは2025年3月末までに国内外で2000人を削減する。全従業員の3%に相当する。事務機市場が縮小するために経営資源を集中する。東芝テックと事務機の開発・生産の共同出資会社を設立している。この新会社に移る8400人は削減対象とはならない。

◆イセトーにサイバー攻撃、
ランサムウェアで 150 万件情報漏洩の
その後、ISO の認証が一時停止も

印刷・情報処理サービスなどを展開する「イセトー」（京都本社）は、ことし 5 月 26 日に社内の一部のサーバーやパソコンのファイルが暗号化され身代金要求型のコンピューターウイルス＝ランサムウェアによるサイバー攻撃を受けたと発表した。

(5/26, 6/10、7/6)

イセトーが発表した内容からは、多数の業務を通して保管しているデータが流出した模様で、対策本部を中心に外部専門家の協力のもとに対応を進めている。

暗号化された情報については引き続き調査中であり、一部の取引先について個人情報の流出の恐れが判明している。該当の顧客には報告の上で、順次協議を進めている。

NHK の報道や複数の情報セキュリティ会社によると、6 月に「8Base(エイトベース)」を名乗るハッカー集団が犯行声明を発表した上で、盗み取ったとするデータを公開した。漏洩したデータは少なくとも 150 万件近くに及ぶと推測されている。

また、情報セキュリティの国際標準化機構 (ISO) の同社に対する認証が 9 月 2 日に一時停止されたと発表した。ISO27001 及び 20701 認証で一定期間停止される。

◆保険証廃止、延長論が再燃 (9/10)

自民党総裁選の候補者が、現行の健康保険証とマイナンバーカードを一本化する時期の変更に相次ぎ言及した。12 月に予定する保険証廃止のタイミングが適切かどうかの議論が総裁選の論戦で再燃している。

林・石破の 2 氏は、適切なタイミングを考慮する必要があるとの柔軟な説に対して、決めた以上は守るべきとの意見も出ている。

◆大江戸温泉物語と湯快リゾートが合併
(9/2)

温泉ホテルチェーンの大江戸温泉物語（東京）と湯快リゾート（京都）が 11 月から合併して共通ブランドを立ち上げる。

両社が展開する全国の温浴施設は 66 カ

所余りが大江戸温泉物語グループにブランドを統一する。大江戸温泉物語 35 カ所、テーマパーク 2 カ所、湯快リゾート温泉宿 29 カ所、を TAOYA・大江戸温泉物語等の名称となる。新持ち株会社は GENSEN ホールディングとなる。

◆KADOKAWA 情報漏洩 25 万人確認
(8/6)

KADOKAWA はランサムウェアを含むサイバー攻撃により、25 万 4241 人の個人情報の漏洩を確認したと発表した。通信制高校「N 高等学校」「S 高等学校」などの在校生や卒業生の氏名や住所、学歴などが外部に流出した。これまで情報漏洩については調査中としており、今回初めて件数など詳細を公表した。

KADOKAWA では 6 月 8 日にサイバー攻撃を受けてからは、多くのサービスが受けられなくなった。ニコニコ動画が 8 月 5 日に再開するなど、事業は正常化に向かっている。情報セキュリティ大手のトレンドマイクロなどの調査では、ランサムウェアの業務停止期間は国内拠点では平均 13 日だが、KADOKAWA はその 4 倍以上の期間がかかった。同調査では過去 3 年間のランサムウェアの法人被害は身代金の支払いや被害範囲の特定などの直接・間接のコストを含めて平均 1 億 7689 万円だった。KADOKAWA は業績について精査中としている。

◆マイナ保険証使いたくない人は
どうするか。

健康保険証、12月2日で廃止予定に、政府の発表では12月2日で廃止になる予定だが、12月3日以降について現在までに発表されている予定では保険証の代替になるものは

1. 今までの保険証は 2024 年 12 月 3 日から 2025 年 12 月 2 日までの 1 年間は、従来の保険証の有効期間内なのでそのまま使える。(ただし、後期高齢者保険証は 25 年 7 月 31 日が有効期限) ただし、期間の延長はできない。

2. 12月2日以降は、保険証の代わりに資格確認書（保険証と同サイズ、同内容＝カードサイズあるいははがきサイズで長期間の使用に耐える構造で）が発行される予定になっている。
3. 後期高齢者保険証の保持者で、マイナンバーカードの保険証登録のない人には、有効期限の7月31日までに健康保険証の代わりになる「資格確認書」が指定住所まで届けられる。この資格確認書は、従来の健康保険証と同様に、事前に発行され、請求なしで各自の住所に書留便で郵送される。健康保険組合あるいは団体によってはこの場合は有効期限前（7月以前）に発行される場合がある。
4. 従来の保険証がプラスチックカードの場合はプラスチックラミネートの紙製のものになることがある。
5. 健康保険証に用いるための暗証番号なしのマイナンバーカードも希望者には発行される。暗証番号なしの写真付きのマイナンバーカードも本人の希望により、発行される。このカードは暗証番号がないことを除けば、従来のマイナンバーカードと全く同様である。
6. このほかに短期間（1週間か10日以内の）保険証の資格を証明する短期の資格証明書がA4判の用紙で用意される。

UCDA関連ニュース

2024年9月

https://ucda.jp/awards/award2024_senkouekka_houkokukai/

◆UCDA アワード 2024 情報

- アワード実行委員会を9/25に開催し今年のアワード各賞が決定しました。今年のアワード選考結果は、UCDA ホームページにて11月7日(木)に公表します。
- 8/28に15周年記念イベント第3弾「経営課題を解決するUCDの実践とは」を実施しました。当日は約80名の参加をいただきました。パネルトークでは、食品メーカーと保険会社から登壇いただき苦労談の話を多く聞くことができ、参加者に好評でした。
- 11月7日(木)の「選考結果報告会」は、15周年記念に相応しい企画にしました。10月25日からUCDAホームページにてご案内を開始いたしましたので取引先(1者企業)へのご案内もぜひお願い致します。本件のご案内は、別冊の「UCDA アワード 2024 選考結果報告会 Flyer」をご確認ください。当日の午前中は、(株)電通と組んで『デザイン「2024」への協働 ACTION』という企画になっています。これは、今年4月に電通のプロジェクトで発足した「インクルージョンと事業成長の共創コンサルティング」にUCDAも参画したことからこの機に、本活動を主眼とした「2040年」に向けた課題について考えビジネスに繋げて行こう！という考えを提案する企画です。午後は、「デジタル庁による基調講演」と「アワード 2024 各賞表彰式」および「受賞企業によるプレゼンテーション」などを行います。当日は、事前申込制でどなたでも「参加無料」ですので、皆さまのご参加をお待ちしております。申込みはUCDAサイトからお願いします。

◆認証案件の動向

- 伝わる：先月の申請案件、生保2件は間もなく評価レポート提出となります。食品パッケージ1件の評価纏め中です。
- 見やすい：今月は新規案件が数件入っています。更新案件は継続的に入っています。

◆認定関係の情報

- 2級講座：大手銀行にて91名の集団受講、某カード会社20名集団受講など実施しました。
- 1級講座：10月開催予定の講座はすでに満席、某信託銀行では集団受講となります。

◆評価関連情報

- 大手損保のDC9ヒューリスティック評価は今月中に評価レポートを提出予定です。

◆研修セミナー情報

- 9月～10月も文章改善講座やワークショップ(DC9ヒューリスティック・ISP・ETA等)が立て続けに予定されています。文章改善講座は2社で行いました。
- 某大手生命保険会社は9月12日に初めての「UCD基本セミナー」実施、同社内のイントラネットで約150名が受講しました。今後は2級講座の受講も予定されています。
- 9月19日に日本印刷技術協会の「UDセミナー」にUCDAの武田が登壇しました。当日はオンライン開催で約40名の参加でした。日本印刷技術協会(網野会長)にて、9月19日に「UDセミナー」の開催の計画があり正式に講演依頼をいただきましたので快諾いたしました。

◆その他の情報

- 8 / 1 より、従来の情報量評価アプリ「DRC」は使用できなくなりましたが、特に問題なく新アプリ「ヨミヤス」を使った申請が来ています。
「ヨミヤス」は、更に某生命保険会社が導入を決定しました。また大手銀行が導入の検討中です。印刷会社の導入は少しずつですが増加しています。
- 「みんなのピクト」は、大手コンビニやスーパー、ホテル、自治体などから引き続き申込が入っており順次提供しています。